

 <p>開校明治七年 開校147年目</p>	<h1>宗岡小だより</h1> <p>学校教育目標 よく考える子 思いやりのある子 心も体も元気な子</p>	めざす学校像 「子供達一人一人の居場所があり、輝ける学校」 「安全・安心できれいな学校」	6月の生活目標 身のまわりを きちんとしよう ・身につけるものを せいけつにしよう ・整理整とんを 心がけよう
		令和3年6月号 志木市立宗岡小学校 児童数 451名・学級数 18学級 住所 志木市中宗岡3-1-1 TEL 048-471-0307	
基本理念「自分がすき 友だちがすき 町がすきな 宗小の子」			

整理整頓の大切さ

校長 石田 賢一

一学期が始まり2ヵ月が過ぎました。子供達も新しい学級にも慣れ、毎日元気いっぱい勉強に遊びに取り組んでいます。5月に開催された運動会では、日頃の練習の成果を発揮し、素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。

また、5月12日(水)に第1回学校運営協議会を開催し、元本校校長の津田美奈先生を始め10名の委員で学校運営に関する課題について熟議いたしました。その中で、「お散歩見守り隊」の提案をさせていただき、各委員の皆様から承認をいただきました。保護者・地域の皆様からの御協力をお願いいたします。

さて、6月の生活目標は「身のまわりをきちんとしよう」です。本格的な梅雨の時期を迎えるにあたり、衛生管理の面からも「身につけるものをせいけつにしよう」という目標と学校生活に慣れてきたこの時期に、子供達の整理整頓が無頓着になる傾向があることから「整理整とんを心がけよう」の2つを小さな目標として設定しています。

特に各家庭においても整理整頓が苦手な子供達は多いのではないのでしょうか。学校においては、授業中に机の上に用意するものや子供達の持ち物の管理方法や管理場所、特別教室における教材の片付け方などを日々指導しているところです。繰り返し、繰り返し指導することで学年が大きくなるにつれて、自身でしっかりと整理整頓ができる子供達の割合が多くなってきています。ただし、学校ではできるんだけど自宅の学習机の上をうまく整理整頓できないという子供も見られます。ある保護者向けアンケートによると「子育ての悩みと気掛かり」を聞いたところ、小学校1年生から高校3年生までのほぼすべての学年の保護者の方が「整理整頓」と回答したそうです。

学習機の周りが整理整頓されれば、「教科書やプリントを確認しやすくなる。」「集中力が上がる。」といったメリットがあります。教科書やプリントを確認しやすくなれば、学習にすぐに取り組めるようになるでしょうし、学校への忘れ物も限りなくゼロに近づくでしょう。また、学習機の周りに漫画やゲームといった子供達が誘惑に負けてしまうものが無かったり、机の上には学習に必要な物だけがあったりすれば、学習に集中して取り組むことができるようになるでしょう。極論を言ってしまうと、学習機の整理整頓ができれば、子供達が集中して家庭学習に取り組み、学力向上につながると言えます。

しかし、子供達は学校では整理整頓しないと自分のものがクラスメイトの持ち物と混ざって分からなくなってしまうということもあり、整理整頓を頑張る傾向にあります。自宅では他の子供の持ち物と混ざったり、なくなってしまうたりする心配もないことから安心し、なかなか整理整頓に取り組めないのかもしれない。

では、学習機の整理をどのように進めるとよいのでしょうか。子供達の家庭環境は様々違うことからどの子供にも当てはまる魔法のような方法はありませんが、大切なエッセンスはあります。それは、「全部出す」→「仕分ける」→「収める」です。

「全部出す」とは、机の中のを全て出してしまふことです。次に「仕分ける」とは、机の中のを種類別に仕分けし、その仕分けしたものを「要る・要らない」や「学校のもの・塾のもの」、「よく使う・あまり使わない」と更に細かく仕分けします。この仕分けの際に不必要と判断したものは、思い切って廃棄すると良いと思います。子供達自身が本当に大切なものは理解しているので、子供達の意見を聞きながら進めると良いと思います。また、必要なものは種類ごとに小さな箱に分けておくと便利です。最後に「収める」とは、仕分けが終わったものを机の中に戻すことです。ただ単に机の中に戻すのではなく、親子でどこに収めると取り出しやすいか、活用しやすいかを考えながら整理すると良いと思います。

ぜひ、子供達の家庭での学習環境を整えるため、土曜日・日曜日や夏休みなどを利用し、親子で取り組んでいただくと幸いです。どうぞよろしくお祈りいたします。

